

## 「STOP! ヒートショック®」プロジェクトに参画

リンナイ株式会社(本社:名古屋市中川区、社長:内藤 弘康)は、近年、社会問題のひとつとして注目されているヒートショックに関する正しい理解の浸透と対策を促進するため、企業協働の活動である「STOP!ヒートショック®」プロジェクトに参画します。

「STOP!ヒートショック®」プロジェクトは、ヒートショックや住まいの寒さなどに関する理解と対策方法を社会に広め、一人でも多くの方にリスクを回避していただけるよう、対策の啓発を目的とした企業協働の活動を開始しています。本プロジェクトは、企業が協働で行う社会貢献型啓発プロジェクトで、まだ理解度の浅いヒートショックのリスクと対策を呼びかけるべく、様々な啓発活動を進めます。



ヒートショックとは、暖かい部屋から寒い部屋への移動などの温度の急な変化が体に与えるショックのことです。ヒートショックが原因となる死亡事故に限りませんが、入浴中に急死した方が約 19,000 人と推計されたこともあります※1。また、入浴事故と血圧の変動は深く関係していると言われていています。特に、高齢者は血圧変化を起こしやすく、体温の調節機能も低下しがちなことから、注意が必要です※2。ヒートショックという言葉自体の認知は約 8 割※3と進んでいますが、内容も知っており対策法も知っている人は約 2 割※3と十分に理解されていないというのが現状で、高齢化社会を迎える日本にとって今後対応が必要とされるテーマのひとつであるといえます。

## ヒートショック対策に役立つ浴室暖房乾燥機

温水式浴室暖房乾燥機 RBHM-C419・C339 シリーズ、RBH-C418・C338 シリーズ※4は、浴室の温度が 15°C 以下になると、脱衣室リモコンに「低温」サインを点灯させて注意喚起する機能や、浴槽への湯はりと同時に浴室暖房運転を開始する「自動連動機能」※5を搭載しています。



温水式浴室暖房乾燥機 (天井埋込型)

※1 消費者庁ニュースリリース「冬季に多発する高齢者の入浴中の事故にご注意ください！」(2017年1月25日)

※2 東京都健康長寿医療センター 研究所「入浴時の温度管理に注意してヒートショックを防止しましょう」(2014年9月)

※3 当社熱と暮らし通信「入浴」に関する意識調査(2018年11月1日)

※4 RBH-C338T は除く ※5 熱源機リモコン 300・302・320・240・262 シリーズと対応給湯暖房用熱源機の組みあわせに限ります。

《本件についてのお問い合わせ先》

リンナイ株式会社 営業本部 : 052-361-8211 (代表)

(注) 本資料に記載されている内容は発表日時点の情報です。ご覧になった時点で、内容が変更になっている可能性がありますので、あらかじめご了承下さい。

## 「STOP!ヒートショック」プロジェクトの理念

「STOP!ヒートショック」プロジェクトは、ヒートショックに関する正しい知識の普及に努めるだけでなく、安心した暮らしに役立つ、生活に密着した具体的な対策アクションの発信、温度のバリアフリー化の提案を行います。

## 今期の主な活動

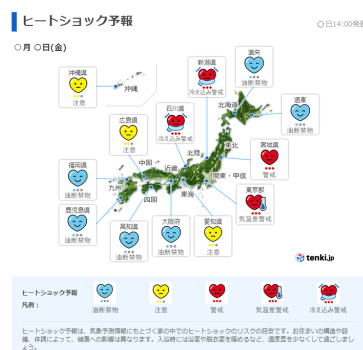
■ 活動期間:2020年10月1日～2021年2月28日  
※重点活動期間は2020年11月1日～2021年2月28日

### ■ <啓発活動1>「STOP!ヒートショック」プロジェクト公式サイト発信強化

ヒートショックについてあまり知らない方にも楽しみながら学んでいただけるコンテンツを発信いたします。活動期間中の Web キャンペーンの実施やご家庭でご活用いただけるスペシャルコンテンツの発信を順次予定しています。

### ■ <啓発活動2>日本気象協会 天気予報専門メディア tenki.jp 内ヒートショック予報ページでの発信

日本気象協会と東京ガスが共同で開発したヒートショックのリスクの目安をチェックできるヒートショック予報を tenki.jp サイト内で2020年10月1日から2021年3月31日(予定)まで発信します。重点活動期間中はプロジェクトとの連携を深めて、ヒートショック対策を呼びかけていきます。日々変化する気象の予測情報に基づいた予報で、タイムリーにまたピンポイントに地域ごとで活用いただけます。



<表示イメージ>

tenki.jp ヒートショック予報 : <https://tenki.jp/heatshock/>